

平成29年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	歯科技工士養成施設活性化事業			担当部局庁	医政局			作成責任者	
事業開始年度	平成30年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	歯科保健課			課長：田口 円裕	
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	-				
主要政策・施策	-			主要経費	社会保障				
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	<p>歯科技工士養成施設については、平成28年4月時点で、52校中43校が定員割れしている中、就業している歯科技工士のうち50歳以上の者が半数を占めるなど担い手の高齢化が生じていることから、歯科技工士養成施設の学生を確保することが急務となっている。</p> <p>また、歯科技工士は、いわゆる対面行為が生じないことから、国民に対する認知度が低く、歯科技工士という職業やその業務内容を認知してもらうための取り組みが必要である。</p> <p>このため、歯科技工士養成施設の学生を確保するなど、歯科技工士養成施設の活性化を推進するために、養成施設に対する補助を行う。</p>								
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	各歯科技工士養成施設に所属する学生が参画し、歯科技工士養成施設活性化推進会議の設置及び歯科技工士養成施設学生確保推進コーディネーターを配置し、学生確保など具体的な養成施設活性化方策を協議・検証する。								
実施方法	補助								
予算額・ 執行額 (単位：百万円)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	16		
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
	計	0	0	0	0	16			
	執行額	0	0	0					
	執行率 (%)	-	-	-					
当初予算+補正予算に対す る執行額の割合 (%)	-	-	-						
平成29・30年度 予算内訳 (単位：百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	医療関係者研修費等補助 金	-	16						
	計	-	16						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
	前年度以上の歯科技工士 養成施設への入学者数	歯科技工士養成施設入学 者数	成果実績	人	-	-	-	-	-
			目標値	人	-	-	-	-	精査中
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	歯科保健課調べ								
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	事業実施か所数	活動実績	か所	-	-	-	-	-	
		当初見込み	か所	-	-	-	-	精査中	
単位当たり コスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	単位当たりコスト=X/Y X:執行額 Y:事業実施か所数	単位当たり コスト	千円	-	-	-	-		
		計算式	X/Y	-	-	-	-		

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	施策大目標2 必要な医療従事者を確保するとともに、資質の向上を図ること										
	施策	施策名: I-2-1 今後の医療需要に見合った医療従事者の確保を図ること										
	測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 -年度	目標年度 -年度			
			実績値	-	-	-	-	-	-			
			目標値	-	-	-	-	-	-			
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
	本事業の実施により、安定的な歯科技工士の確保につながる。											
	改革項目	分野:	-	-								
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 -年度	28年度	29年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度			
			成果実績	-	-	-	-	-	-			
		目標値	-	-	-	-	-	-				
		達成度	%	-	-	-	-	-				
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 -年度	28年度	29年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度				
		成果実績	-	-	-	-	-	-				
		目標値	-	-	-	-	-	-				
		達成度	%	-	-	-	-	-				
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係												
-												

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	全国的に歯科技工士の確保が懸念される中、安定的に確保をするため、国費を投入すべきものである。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	歯科技工士を安定的に確保するため、国が実施すべき事業である。			
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	近い将来の歯科技工士の確保が懸念されることからことから、養成の早い段階から取り組む必要があるため、優先度の高い事業である。			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-				
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無				
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無				
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-				
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-				
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-				
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-					
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-					
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-				
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-				
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-				
	所管府省名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果	-				
	改善の方向性	-				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-	
平成28年度	-					

